



Title	jaih-s との共同企画フォーラムⅢ 開催報告
Author(s)	松園, 梨代
Citation	目で見えるWHO. 2013, 53, p. 10-11
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86710
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

jaih-s との共同企画フォーラムⅢ 開催報告

jaih-s 第8期後半運営委員 松 園 梨 代

Jaih-sは学生を対象に「国際保健に関わる人材育成」に取り組んでいる学生団体です。国際保健に関心を持つ様々な分野の学生に情報や機会の提供を行い、世界で活躍できる人材を育成することは、日本WHO協会の人材育成事業の目的と合致します。2年前から開始した、この共同企画フォーラムを今年も、9月22日に大阪大学中之島センターの佐治敬三メモリアルホールで大阪コミュニティ財団/大阪信用金庫ふれあいスマイル基金からの助成も頂き開催しました。日本の国内では関わるのが少ないですが、国際医療保健で活躍するときには、必ず対峙しなければならない課題である「HIV/エイズとジェンダー」をテーマとして取り上げ、大阪府立大学の垣内先生と長崎大学の西原先生の講演を聴いた後、参加者は数人のグループに分かれてワークショップを展開し、それぞれのグループごとに意見発表しました。

●開会の挨拶 日本WHO協会理事長 関 淳一

日本国際保健医療学会学生部会(jaih-s)の方々との共催企画によるフォーラムも、この度第3回を迎える運びとなりました。

今回も、これ迄と同様、テーマの決定、企画、講師の選定などは、全てjaih-sの方々によって行なわれました。今回のテーマは、「健康への架け橋～HIV/エイズ、ジェンダーから見る国際保健医療～」です。HIV/エイズ、ジェンダーの問題を切り口として国際保健医療を考えようと言うものです。

言う迄もなく、HIV/エイズ、ジェンダーの問題は、デリケートな一面を有すると同時に、その背景には、各々の国や地域の歴史と文化があり、深い考察が必要です。今回のフォーラムで、これらの課題について参加者全員が、各々自分で考え、意見を出し合って議論することは、極めて意義のあることだと思います。

私は、今回のテーマは、ある意味で、議論をすることに意味があるとも言えると思います。

また、今回のテーマの選定は、ミレニアム開発目標(MDGs)がカウントダウンに入っているというタイミングでの開催と言うだけでなく、将来国際保健医療のみならず、広く保健医療に携わることを志す人々にとって、一度は深く考えなければならない課題だと思います。

参加された方々が、他の人の意見にも十分耳を傾



けつつ、積極的に御自分の考えを述べられ、活発な議論がなされるならば、参加した皆様は必ず何かを得て帰られるものと確信いたします。

最後に、非常に御多忙の中、当フォーラムの講師をお引き受けいただきました、垣本和宏先生、西原三佳先生に主催者を代表して心から御礼を申し上げます。

●開会の挨拶 jaih-s 第8期代表 小淵 香織

公益社団法人日本WHO協会との共催企画は今回で3回目の開催となりました。第1回目のテーマは「子どもの健康」、前回は「地域保健医療×国際保健医療」、そして今回のテーマは「HIV/エイズとジェンダー」です。私たち学生が興味関心のある国際保健医療の分野に対し、(公社)日本WHO協会のご協力のもと、学生の視点から企画を作っております。私たち学生へのご厚誼を賜り、大変嬉しく思います。この場をお借りして御礼申し上げます。

世界は飛躍的にグローバル化し、地球上の健康問題に対し世界中で取り組む時代になっています。今回の企画のテーマであるHIV/エイズは途上国だけの問題でしょうか？ 日本では2012年の新規AIDS患者

数が過去最高となっています。また、様々な問題の裏に潜む「ジェンダー」というものについて、皆様は考えたことがありますか？

参加者の皆様は様々な思いで今日の企画にお越し頂いていることと思います。将来国際保健医療の道に進みたいと考えていらっしゃる方、ジェンダーをめぐる問題に興味があるという方、ちょっとした興味で来て下さった方…私自身、国際保健医療に興味を持ち、将来の道を模索している身として、同じ興味関心を持つ皆様とお会いできたことを大変嬉しく思います。そこで、上記の問題に対し、どのような考えを持っているか、どのように解決したら良いか、ぜひ皆様と積極的に意見交換をしたいと思っています。正解がひとつではないからこそ、自分の意見を持つということがとても大事だと思うからです。

私たちjaih-sは「国際保健医療に関わる人材育成」を目的として活動している学生団体です。ネットワーキング、大学では得られない学習環境、多分野からの参加を大きな柱として、全国の学生に国際保健医療の学習環境を提供すべく活動しています。今後も国際保健医療を志す学生のよりどころとなるよう邁進してまいりますので、ぜひ皆様の声をお届けください！

